



【北海道防災総合訓練】

平成29年10月20日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、平成29年10月20日（金）、道が計画する平成29年度北海道防災総合訓練に参加した。

本訓練は、北海道地域防災計画に基づき、札幌直下型地震（最大震度7）の想定のもと、北海道、道内の防災関係機関及び関係市町村が協同で訓練を実施することにより北海道の災害対応能力を強化するもので、本院は、DMAT（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）と協力しSCU（Staging Care Unit：航空搬送拠点臨時医療施設）から受け入れた患者のトリアージ・受付、処置・検査、受け入れ後の患者状態の変化に応じた救急治療及び後送などについてその要領の確立を図った。

訓練時には北海道知事及び札幌市長の視察を受け、エントランスホールでのトリアージ、緊急度・重症度に応じた受け入れ要領、大量傷者受け入れ時の増床能力など、災害発生時の地域医療に貢献するための自衛隊札幌病院の態勢についてご理解いただいた。



SCUから到着した患者を院内へ搬送



エントランスホールにおけるトリアージ



DMATと協力した治療処置活動



中等症患者を病棟へ収容



北海道知事・札幌市長の視察
(処置内容の説明)



指揮所における作戦会議